

講師

アンデリュウ・ジッツマン

■ 学歴

1. 2008年 オーストラリア マクウォリ大学院 言語学科卒業

■ 学位

1. 2008年 修士（言語学）

■ 研究分野

1. 社会言語学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 異文化コミュニケーション
2. 初年次教育
3. 教育の変遷

■ 研究課題

1. アイデンティティの確立
2. 大学進学

■ 担当授業科目

1. エリア・スタディ II
2. グローバル英語 I
3. 専門演習 I,II
4. 卒業研究
5. 欧米文化交流 B
6. English Extension I, II, III, IV
7. 英語プロジェクト II
8. 英語コミュニケーション I,II
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【英語コミュニケーション】 |
| | このコースは、生徒の英語コミュニケーション能力を、より自然で、スクリプトのない形に向上させ |

	ることを目的としています。この目的を達成するために、このコースでは様々な社会的コミュニケーションルールを提示し、重要な練習の機会を提供します。
2.	<p>授業科目名【エリア・スタディ II】</p> <p>隣国についての知識を持つことは、国際理解のための重要なステップです。このコースでは、ASEANの国々に焦点を当て、彼らがお互いに、そして日本とどのような関係にあるのかを考察しました。</p>
3.	<p>授業科目名【欧米文化交流 B】</p> <p>このコースは、欧米文化を紹介し、対象国との交流の機会を提供することを目的としています。8月にカナダ短期留学を行いました。</p>
4.	<p>授業科目名【英語プロジェクト II】</p> <p>このコースの目的は、学生たちがディスカッションやプレゼンテーションに積極的に参加するように促すことです。様々なトピックについて調べ、説明させるために、多くのグループワークを行いました。個人発表とグループ発表では、最初の2年間で学んだいくつかのスキルを実践的に使い、クラスで自分の考えを発表したり、他の生徒が調べたことから学んだりします。</p>
5.	<p>授業科目名【専門演習 II】</p> <p>このコースでは全国プレゼンテーション・コンテストに出場しました。様々なスキルを駆使して詳しく調べ、プレゼンテーションを準備し、京都での決勝大会に臨みました。最終学年の卒業論文に向けて、とても実践的かつ教育的なプロジェクトとなりました。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1994~現在に至る	全国語学教育学会	北九州支部報告担当（2019年11月～現在に至る） 学会ビジネス・マネージャー（2006年11月～2010年11月） 学会企画担当理事（2004年7月～2006年11月）
2.			
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）					
1.	2024年1月	Climb High to the TOEIC L&R Test	共	金星堂	このテキストは、TOEICを受験する学生のためのものである。文法解説・語

					句解説などを詳細に行っており、受験 しない学生にとっても英語力の増強が 見込まれるよう配慮している。
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 （単位：円）	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～2024年3月	学生委員	副委員長
2.	2023年4月～2024年3月	教育経費予算配分委員	
3.	2023年4月～2024年3月	教育経費予算配分委員	理事
4.	2023年4月～2023年11月	第五回 KANAME 杯	役員
5.	2023年4月～2024年3月	ESS サークル	顧問
6.	2023年9月～2024年1月	ZION Cup(スピーチコンテスト)	企画担当